

## — 絵金芝居絵屏風本格修理のご報告・1 —

## 《 芝居絵屏風の本格修理事業、開始！ 》

絵金蔵のある香南市赤岡町には、絵金及びその弟子らが描いた芝居絵屏風 23 隻が現存しており、2009 年 3 月にはその全てが高知県保護有形文化財に指定されています。

芝居絵屏風は通常は絵金蔵の収蔵庫に保管されていますが、作品の持ち主はこれまで絵金の芝居絵屏風を大切に守ってきた町の方々。所蔵者の方々の想いをつなぎ、職員が安全な保存管理に努めています。

しかし、大切に守られてきた芝居絵屏風は描かれてから 160 年以上経過しており、年に数晩であれ屋外に露出展示することも相まって着々と傷みが進んでいました。一見色彩も美しく良好な状態に思えますが、小さな負担が年々と降り積もり非常に危険な状態となっていたのです。このような現状から、所蔵者の方々は修理の実施を願いながらも着手できずに数年が経過していました。

そして 2019 年 4 月、長年の努力が実り、高知県と香南市の理解を十分に得ることによりついに本格的な保存修理の実施が決定しました。不慮の事故により既に修理が終わっている 5 隻を除いた 18 隻を今後数年間にわたって修理していく予定で、2019 年度修理作品の 4 隻は美術品専門の修理工房にて現在修理が進められています。

全 18 隻の大規模な事業となりますが、この修理を施すことにより祭りで町に芝居絵屏風を並べるといふ絵金文化を守ることができ、後世へ文化をつないでいくことができます。本事業は赤岡に残る芝居絵屏風を対象としたものではありませんが、県内には各地に絵金やその弟子らによる芝居絵作品が残され、祭りに展示されたり、保管されたりと大切に受け継がれてきています。今すぐこれらに対して最適な処置を施すことは難しいかもしれませんが、できることを少しずつ進めるための足掛かりとして、本事業が文化財の在り方を考えるきっかけになることを願っています。

◎以下の助成事業の対象となっています。

- ・文化財保護活動助成 / 公益財団法人 朝日新聞文化財団
- ・美術品修復事業助成 / 公益財団法人 出光文化福祉財団
- ・文化財保存修復助成

/ 公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団

## - 2019 年度修理作品 -

- ・花衣いろは縁起 鷲の段 (本町二区所蔵)
- ・伊達競阿国戯場 累 (本町二区所蔵)
- ・東山桜莊子 佐倉宗吾子別れ (本町二区所蔵)
- ・播州皿屋敷 鉄山下屋敷 (横町二区所蔵)

## 本格修理の工程 ▶▶▶

## 損傷状況の確認



作品ごとに損傷状況は異なるため、どこがどれほどどのように傷んでいるかを詳細に調査し、カルテに書き込んでいきます。

時間をかけて細かく確認していくと、ふだん鑑賞する際には気づかないような絵具の剥離や小さなキズ、画面の破れ、付着物等が多く見つかります。

## 本格修理の工程 ▶▶▶

## 解体前の剥落止め



屏風絵は周囲に襲木と呼ばれる縁木が取り付けられ、描かれている本紙と骨格となる木枠(下地骨)の間には何層にも紙が重なっており、一枚ずつ慎重に剥がし

ていかなければなりません。その際に、絵具層の接着が不安定になっている箇所が剥落してしまわないよう、膠水溶液等で剥落止めを行います。

以前当館で開催した『公開修理』の際には当面の保管と輸送のための応急的な剥落止めを施しており、そんなに何度もしなければならぬの？と感じるかもしれませんが、その都度次の工程を考慮し、不具合が生じさせないため、適切な範囲に適切な強度で、と慎重に見極めた上で行われているのです。

※膠(にかわ)…動物の皮革等から抽出したコラーゲン物質。古くから日本画制作や墨の製造、様々な接着剤として用いられる。